

# 【平成20年度】京都検定現地講習会



主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

## 【休日コース】

印は通常非公開もしくは期間公開です。

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
A	平等院・宇治上神社の歴史と文化財 - 京都の世界遺産 -	4月19日(土)	平等院：鳳凰堂、観音堂、鳳翔館、浄土院客殿養林庵書院など 浮島十三重塔、宇治神社、宇治上神社	岡村 喜史氏 龍谷大学文学部 准教授
B	太秦を歩く - 京都を歩く -	5月25日(日)	広隆寺：講堂、霊宝殿、桂宮院 蛇塚古墳、木嶋神社(蚕の社) 大酒神社など	松波 宏隆氏 龍谷大学 非常勤講師
C	正法寺・勝持寺・宝菩提院願徳寺の仏像 - 文化財の見方・楽しみ方【仏像編】 -	6月21日(土)	正法寺：千手観音立像(重文)など 勝持寺：薬師如来坐像(重文)など 宝菩提院：菩薩半跏像(国宝)など その他、多数の仏像・文化財を拝観します	井上 一穂氏 同志社大学文学部 教授

「平等院・宇治上神社の歴史と文化財」では、『源氏物語』に描かれたような王朝時代の文化財が残る宇治を巡ります。平等院では、通常の拝観先のほか、伏見城の遺構と伝えられる浄土院客殿養林庵書院(重文・非公開)を拝観します。

「太秦を歩く」では、広隆寺と周辺の神社・古墳を歩きます。広隆寺では有名な弥勒菩薩半跏像(国宝)を安置する霊宝殿をはじめ、「奥の院」とも呼ばれ期間公開の桂宮院(国宝)を拝観します。蛇塚古墳では特別に石室の中を見学。秦氏の勢力の大きさを実感していただけます。

「正法寺・勝持寺・宝菩提院願徳寺の仏像」では、洛西に残る古仏を拝観します。特に宝菩提院に安置される菩薩半跏像(伝如意輪観音)は、平安初期の檀像の傑作として国宝に指定されています。

## 【平日コース】

印は通常非公開もしくは期間公開です。

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
	妙蓮寺と本法寺の文化財	4月14日(月)	妙蓮寺：十六羅漢の庭、宝蔵庫 本法寺：三巴の庭、長谷川等伯筆涅槃図	小嶋 一郎氏 財団法人京都古文化保存協会
	御霊神社と天寧寺の文化財	5月14日(水)	御霊神社：御霊祭神輿、芭蕉句碑 天寧寺：額縁門、千利休像、岸駒筆襖絵など	

「妙蓮寺と本法寺の文化財」では、日蓮宗の名刹を巡ります。妙蓮寺では長谷川等伯一派の筆と伝える障壁画などの文化財を納める収蔵庫(非公開)や十六羅漢の庭を拝観。本法寺では、本阿弥光悦作で国の名勝に指定される「三巴の庭」や長谷川等伯筆の涅槃図(重文・期間公開)を拝観します。

「御霊神社と天寧寺の文化財」では、祭日前の御霊神社で神輿や鉾などを見学します。天寧寺では有名な「額縁門」のほか、千利休像や岸駒筆襖絵(全て通常非公開)などを拝観します。

休日コース  
平日コース  
いずれも



【時間】 13:00～17:00 【定員】 各コース 50名  
【受講料】 各コース 3,500円(拝観料・レジュメを含む)

## 【特別コース】 観光バスによる1日コース

印は通常非公開もしくは期間公開です。

講座名	開催日	拝観先	講師
京田辺・宇治田原の古寺と文化財 - 酬恩庵・寿宝寺・禅定寺 -	6月8日(日)	酬恩庵：方丈、庭園、一休禅師頂像 寿宝寺：千手観音立像(重文) 禅定寺：十一面観音立像、四天王立像 (いずれも重文)など	小嶋 一郎氏 財団法人京都古文化保存協会

酬恩庵：別名「一休寺」。方丈や庭園のほか、一休禅師頂像や宝物館など禅師ゆかりの文化財を拝観します。  
寿宝寺：千本の手を完備する千手観音立像(重要文化財)や聖徳太子十六歳像など非公開の仏像を拝観します。  
禅定寺：宇治田原の古刹。伽藍のほか、十一面観音や四天王、文殊菩薩などの平安期の仏像群(いずれも重要文化財)を拝観します。

【時間】 9:30～17:30 <予定> 【定員】 47名  
【受講料】 7,000円(拝観料・レジュメ・昼食(精進料理)を含む)

# 【平成20年度】京都検定現地講習会



7月開催

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

## 【休日コース】

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
D	知恩院の古建築 -文化財の見方・楽しみ方【建築編】-	7月26日(土)	三門、御影堂、経蔵、阿弥陀堂、 大方丈、小方丈、大鐘楼など	菅澤 茂 氏 京都府文化財保護課専門員

印は通常非公開もしくは期間公開です。

「知恩院の古建築」では、「建築」をテーマに知恩院を拝観します。浄土宗の総本山知恩院は、開祖法然上人の入寂の地に立つ寺院で、平成23年(2011)には800年の大遠忌を迎えます。その境内には三門(国宝)、御影堂(国宝)、経蔵(重文)など、優れた建築物が今も数多く残されています。今回は京都府下の古建築の保存・修理に長年携わってきた専門の講師から、その見方、楽しみ方を学びます。

### 見どころ

三門(国宝):元和7年(1621)に建立された5間3戸、重層、入母屋造、本瓦葺の三門。日本の三門のなかでは最も巨大なもの。 楼上内部は通常内部非公開

御影堂(国宝):寛永16年(1639)、徳川家光によって再建。桁行11間、梁間9間の一重、入母屋造。法然上人像(御影)を安置する。正面の軒裏には名工左甚五郎が魔除けのために置いたとされる「忘れ傘」が今も残る。

経蔵(重文):三門と同じ元和7年(1621)に建立。桁行3間、梁間3間の一重、宝形造。徳川秀忠の寄附によって納められた宋版大蔵(一切)経約六千巻を安置する輪蔵が備えられており、その輪蔵を一回転させれば、大蔵経を読誦するのと同じ功德を積むことができるといわれている。

通常内部非公開

【時間】 13:00～16:30  
【受講料】 3,500円 (拝観料・レジュメを含む)  
【定員】 60名 (申込多数の場合は抽選となります)

## 【平日コース】

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
	何有荘の庭園と文化財	7月25日(金)	庭園、洋館、本堂、龍吟庵など (全て非公開)	小嶋 一郎 氏 財団法人京都古文化保存協会

何有荘は、元南禅寺塔頭の址地で、明治38年(1905)に稲畑勝太郎氏が小川治兵衛に命じて作らせた池泉回遊式庭園です。東山を借景とし、京都市街を一望できる約6千坪の敷地内には、琵琶湖疏水から直接水を取り込み滝や池が配置されるとともに、武田五一の設計による洋館、明治28年(1895)の内国勧業博覧会に出品された「龍吟庵」など、貴重な建築物も数多く存在します。今回はこのような何有荘の魅力に迫ります。

【時間】 13:00～16:30  
【受講料】 3,500円 (拝観料・レジュメを含む)  
【定員】 50名 (申込多数の場合は抽選となります)

# 【平成20年度】京都検定現地講習会



主 催 / 京都商工会議所・京都能率協会

★ 9月・10月 休日コース

印は通常非公開もしくは期間公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
E	嵯峨野を歩く - 京都を歩く -	9月27日(土)	清凉寺：本堂、釈迦如来立像、 経蔵、霊宝館など 薬師寺、慈眼堂千手観音立像、 檀林寺跡など	松波 宏隆氏 龍谷大学 非常勤講師

「嵯峨野を歩く」では、清凉寺とその周辺を歩きます。清凉寺では齋然が宋からもたらし、体内に絹製の五臓六腑が納められていたことで著名な本尊木造釈迦如来立像(国宝・期間公開)や、棲霞寺の本尊木造阿弥陀三尊像(国宝・期間公開)、また本堂、仁王門、経蔵(通常非公開)、多宝塔、宝篋印塔など、多彩な文化財を拝観します。

清凉寺の境内塔頭である薬師寺(通常非公開)は、弘仁9年(818)、嵯峨天皇が空海に勅して建立したと伝えられ、木造阿弥陀如来坐像や木造地藏菩薩半跏像(いずれも京都市指定文化財)など、平安から鎌倉時代の仏像が残されています。

清凉寺の西方にある慈眼堂(通常非公開)には、この付近に山荘を営んだ藤原定家の念持仏と伝えられる木造千手観音立像(京都市指定文化財)が安置されています。

檀林寺は、嵯峨天皇の皇后である檀林皇后が建立した尼寺で、広大な寺域をもちましたが平安後期に廃絶し、現在は道標が立つのみとなっています。

印は通常非公開もしくは期間公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
F	仁和寺の歴史と文化財 - 京都の世界遺産 -	10月18日(土)	二王門、金堂、五重塔、経蔵、 宸殿、黒書院、白書院、霊宝館など	岡村 喜史氏 龍谷大学文学部 准教授

「仁和寺の歴史と文化財」では、歴史、建築、霊宝館の文化財などからその魅力に迫ります。

## 見どころ

二王門(重要文化財)：寛永14年(1637)～正保元年(1644)の再建。知恩院三門や南禅寺三門と並び、京都の優れた三門の1つ。知恩院、南禅寺が唐様で建てられているのに対し、仁和寺の二王門は和様で作られている。

金堂(国宝)：京都御所の紫宸殿を移築したもの。移築後本瓦葺となり、内部に須弥壇が設けられた。慶長の紫宸殿の構造を受け継ぐ建物として国宝に指定されている。(通常非公開)

五重塔(重要文化財)：寛永年間(1624～1644)の造営で、東寺の五重塔と並ぶ近世五重塔の代表作。総高が36.18mあり、初層から五重にかけての逓減率(縮小の割合)が小さいのが特徴。初層内部には五仏を安置し、壁面・柱などに彩色仏画が施されている。(通常非公開)

阿弥陀三尊像(国宝)：仁和4年(888)に建立された金堂の本尊。檜を用いた一木造で、中尊が阿弥陀如来坐像、両脇侍は観音菩薩・勢至菩薩像である。現在は霊宝館に安置。(期間公開)

【時 間】 13:00～17:00

【受講料】 各コース 3,500円 (拝観料・レジュメを含む)

【定 員】 各コース 50名

# 【平成20年度】京都検定現地講習会



主 催 / 京都商工会議所・京都能率協会

★ 10月・11月 開催

【休日コース】

印は通常非公開もしくは期間公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
G	京都御苑の庭園 -文化財の見方・楽しみ方【庭園編】-	11月29日(土)	[講義] 日本庭園の歴史(仮) [見学] 閑院宮邸跡、九条池と拾翠亭、近衛邸跡	菅沼 裕氏 財団法人京都市都市緑化協会 庭園専門員

「京都御苑の庭園」では、閑院宮邸跡、九条池と拾翠亭、近衛邸跡など、京都御苑に残る庭園や遺構を見学し、庭園の見方・楽しみ方を学びます。

【講義】

「日本庭園の歴史」(仮題):日本の作庭とその思想、作庭家などを、スライドを活用しながら分かりやすく解説します。庭園の見方を深める参考文献付き。

【見学】

閑院宮邸跡:閑院宮家は伏見宮家、桂宮家、有栖川宮家と並ぶ四親王家の一つ。最近まで環境庁の京都御苑管理事務所などに使用されていたが、現在は御苑の歴史や自然に関する展示品を納めた展示室と庭園が一般に公開されている。

九条池と拾翠亭:五摂家の一つ九条家の屋敷内につくられた庭園の遺構。拾翠亭は江戸後期の茶室で、数寄屋造の2階建。九条池を中心とした庭園は池泉廻遊式の名園で、中島に祀る叡島神社には「京都三珍鳥居」の一つ唐破風型の鳥居が立つ。通常期間公開

近衛邸跡:五摂家の筆頭で、摂関を多く輩出した近衛家の邸宅跡。現在も池が残る。

【平日コース】

印は通常非公開もしくは期間公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
	神光院と正伝寺の文化財	10月20日(月)	神光院: 本堂、太田垣蓮月隠棲茶所 正伝寺: 本堂(重文)血天井、方丈障壁画(狩野山楽・重文)	小嶋 一郎氏 財団法人京都古文化保存協会
	興聖寺と放生院の文化財	11月21日(金)	興聖寺: 琴坂、本堂、開山堂、天竺殿 聖観音立像(手習観音) 放生院: 本堂、地藏菩薩立像(重文) 不動明王立像(重文) 宇治橋断碑(重文)	

平日コースの は、「神光院と正伝寺の文化財」を拝観します。「西賀茂の弘法さん」として親しまれている神光院は、厄除け大師として信仰を集めています。本尊の弘法大師像を安置する本堂、幕末の女流歌人太田垣蓮月尼隠棲の茶所など、通常非公開の文化財を拝観します。また江戸初期の枯山水庭園で有名な正伝寺は鎌倉時代創建の禅寺(臨済宗)で、伏見城の御殿を移したと伝えられる本堂(重文)や、狩野山楽筆の障壁画(重文)など、貴重な文化財が今も数多く残されています。

平日コースの は、「興聖寺と放生院の文化財」を拝観します。興聖寺は曹洞宗永平寺派の道場で、本堂、開山堂のほか、天竺殿(通常非公開)を拝観します。天竺殿には『源氏物語』宇治十帖の「手習」にちなむ手習観音(聖観音立像・通常非公開)が安置されています。宇治橋のたもとにある放生院は、聖徳太子の時代から宇治橋の管理にあたったと伝えられる古刹で、宇治橋断碑(重文・通常非公開)は特に知られています。また本堂の本尊地藏菩薩立像と不動明王立像(いずれも通常非公開)は、平安時代と鎌倉時代の作とともに重要文化財に指定されています。

【時間】 13:00~17:00

【受講料】 各コース 3,500円 (拝観料・レジュメを含む)

【定員】 各コース 50名

# 【平成20年度】京都検定現地講習会



3月開催（今年度最終）

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

## 【休日コース】

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
H	神護寺と西明寺の仏像 -文化財の見方・楽しみ方【仏像編】-	3月21日(土)	【神護寺】木造薬師如来立像(国宝) 木造日光・月光菩薩立像(重文) 木造五大虚空蔵菩薩坐像(国宝) 【西明寺】木造釈迦如来立像(重文) 木造千手観音立像(重文)	小嶋 一郎 氏 財団法人京都古文化保存協会

印は通常非公開もしくは期間公開です。

洛西高雄の古寺・神護寺と西明寺には、平安から鎌倉にかけての優れた仏像が多数残されています。今回はこれらの仏像製作の時代背景や技法、様式など、さまざまな視点からその見方・楽しみ方を学びます。

### 見どころ

神護寺薬師如来立像(国宝):神護寺の前身である高雄山寺草創期の本尊(現本尊)。高く盛り上がる肉髻、厳しい相貌、量感溢れる体軀など、力強く神秘的な表現で知られる。螺髪、眼、唇に色をさしているほかは、ヒノキの美しい地肌を生かしている。平安時代初期(8~9C)の仏像彫刻を代表する名品の1つ。

神護寺五大虚空蔵菩薩坐像(国宝):多宝塔に安置。五大虚空蔵菩薩の遺例としては最古級でかつ最も完好なかたちで今日に伝わる。大阪観心寺の有名な如意輪観音坐像(国宝)との類似点が指摘されており、この時代の仏像を考える上で極めて貴重である。 通常非公開

西明寺釈迦如来立像(重文):本堂正面須弥壇上の厨子内に安置されている本尊。51cm とやや小ぶりながら、鎌倉時代の清凉寺式釈迦如来の作例として貴重。重要文化財に指定されている。

## 【平日コース】

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
	大雲院と得浄明院の文化財	3月26日(木)	【大雲院】鐘楼、祇園閣、石川五右衛門墓など 【得浄明院】本堂(戒壇めぐり) 白天龍王社 大雲院・得浄明院とも通常非公開	小嶋 一郎 氏 財団法人京都古文化保存協会

大雲院は、天正15年(1587)、正親町天皇の勅命により織田信長・信忠の菩提を弔うため、貞安上人が創建した浄土教系の単立寺院です。有名な祇園閣のほか、多くの文化財(通常非公開)が残っています。

得浄明院は、信州善光寺の京都別院として建立され、善光寺同様、戒壇めぐりができるお寺として知られています。

### 見どころ

大雲院祇園閣(国登録有形文化財):昭和3年(1928)、大倉財閥の創始者で鹿鳴館などを手がけた大倉喜八郎がこの地に別荘を構えた際、祇園祭の山鉦を模して建造したもの。設計は建築界ではじめて文化勲章を受章した伊東忠太。閣上からは洛中洛外を一望に俯瞰することができる。 通常非公開

得浄明院本堂戒壇めぐり:本堂下に作られた真間の戒壇を一周し、現当両益・減罪生善などの如来の功德を得るもの。信州善光寺の戒壇めぐりと全く同じ構造になっている。 通常非公開

休日コース  
平日コース  
いずれも



【時間】 13:00~17:00 【定員】 各コース 50名  
【受講料】 各コース 3,500円(拝観料・レジュメを含む)